

科目名	担当教員	学期	単位
政治学英語文献研究D	中金 聡	後期	2

講義概要

トマス・ホッブズの政治思想はいまなお読むにあたいるか。あるいは、どのような修正を加えればホッブズのメッセージは現代に甦るのか。本講義では、20世紀の政治哲学者たちからR・G・コリングウッド、レオ・シュトラウス、マイケル・オークショット、ベルトラン・ド・ジュヴネルの4名を取り上げ、かれらが『リヴァイアサン』ににあたえたそれぞれに個性的な解釈を比較しながら、現代政治理論のなかに生きるホッブズについて考察する。講義にあたっては、全受講者がホッブズにかんして最小限の予備知識（さしあたり最小限でかまわない）をもっていることを前提に話をすすめる。『リヴァイアサン』（岩波文庫）の第1・2分冊を読了したうえで参加することが望ましい。なお受講者数に応じて進度を調節し、取り上げる政治哲学者の数や順序も変動することがある。

シラバス

- 第1回：イントロダクション 講義テーマの提示
- 第2回：20世紀のリヴァイアサン ホッブズ解釈史概観
- 第3回：コリングウッド (1) 新リヴァイアサンの試み
- 第4回：コリングウッド (2) R. G. Collingwood, *The New Leviathan* (1942) .
- 第5回：コリングウッド (3) ディスカッションと評価
- 第6回：シュトラウス (1) 近代政治哲学の創始者か？
- 第7回：シュトラウス (2) Leo Strauss, *The Political Philosophy of Hobbes* (1936) .
- 第8回：シュトラウス (3) ディスカッションと評価
- 第9回：オークショット (1) 公民的結社としての国家
- 第10回：オークショット (2) Michael Oakeshott, *Introduction to Leviathan* (1946) .
- 第11回：オークショット (3) ディスカッションと評価
- 第12回：ジュヴネル (1) 近代的主権概念のアンビヴァレンス
- 第13回：ジュヴネル (2) Bertrand de Jouvenel, *Sovereignty* (1955) .
- 第14回：ジュヴネル (3) ディスカッションと評価
- 第15回：まとめ・評価・他

教科書

開講時に英文テキストのコピーと関連資料を配布する。

参考文献

レオ・シュトラウス（飯島・谷・添谷訳）『ホッブズの政治学』（みすず書房、1990年）。
 マイケル・オークショット（中金訳）『リヴァイアサン序説』（法政大学出版局、2007年）。
 その他は講義中に適宜指示する。

評価方法

クラスへの貢献度（50%）と期末レポート（50%）によって総合評価する。

関連URL

備考